

うま  
今年は午年！

リトルワールド 学芸通信⑩(2025年度)

2026年 春季特別展示

# せかいのウマめぐりこぼれ話

あけましておめでとうございます！2026年の干支は「午（ウマ）」。  
10種からなる「十干」と子、丑、寅、卯…でおなじみの12種からなる「十二支」を  
合わせた「十干十二支（じっかんじゅうにし）」では、今年「丙午（ひのえうま）」  
に当たります。「丙」も「午」も火の性質を持つとされ、エネルギーが高まる年とも言  
われる今年、新しいことに挑戦してみるのもよいかもしれませんね。

じっかんじゅうにし  
十干十二支って？

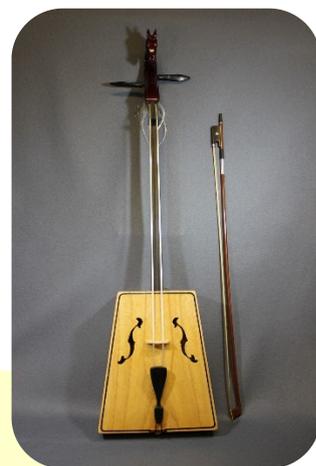
『鬼滅の刃』をはじめ、マンガやアニメなどで階級をあらわしたり、  
方角や数をあらわしているのを見たことがある人も多いかも？



展示品  
から

## モンゴルの馬頭琴

日本では『スーホの白い馬』という民話で知られている馬頭琴。  
モンゴルでは馬頭琴の由来にまつわる民話はいくつかあり、実は  
ほかの民話の方がより広く知られているのだとか。  
そのうちのひとつをご紹介します。



ある夫婦が暮らしていました。  
ある日、夫は徴兵で家を離れ西の方へ向かいます。  
夫はそこで別の女性と出会い、妻がいるにもかかわらず恋に落ちます。  
夫は恋人と妻との間を、1日で千里飛ぶすばらしい馬で行き来しますが、  
あるとき妻に真相を知られ、その馬を殺されてしまいます。  
夫は馬の死を悲しみ、その馬の形に似せて作った琴、馬頭琴を弾きました。

モンゴルの民話は大人向けの内容や恋愛譚が多いそうじゃ。  
すばらしい馬が夫の行いで命を落とすとはやりきれないのう…。



かいめい  
**解明！ウマのふるさと**

リトルワールド 学芸通信⑩(2025年度)

近年の研究で、家畜ウマの起源はロシア南部のボルガ・ドン地域であることが、DNA分析で解明されました。

人々は繁殖させたウマとともに移動し、家畜ウマは瞬く間に西ヨーロッパから東アジアまで広がったと考えられています。



展示  
から

たたか れきし  
**ウマと戦いの歴史**



インカ帝国にはウマや大型の家畜がいまませんでした。

ウマに乗って戦うスペイン軍を前に、インカの人々は初めて見る騎兵の姿を恐れ、その速さと強さに圧倒されます。

インカ帝国の滅亡の理由の一つは「ウマがいなかった」ことだと言われています。

「ペルー 大農園領主の家」の壁画には、インカ軍とスペイン軍の戦いの様子が描かれています。

大迫力の壁画から、当時のインカの人々の衝撃を想像してみたいかがでしょうか。

1/11  
開始！

ほっかいどう しゅうふくこうじ  
**北海道 アイヌの家の修復工事がはじまります！**

2025年、クラウドファンディングに挑戦した「北海道 アイヌの家」の修復工事が1月11日(日)からいよいよはじまります。

期間中は二風谷アイヌの職人の皆さんによる修復の様子をご見学いただけます！



▲ 前回の修復工事の様子

当館での修復工事は、二風谷アイヌのベテラン職人から若手職人への伝統技術の継承も兼ねています。

期 間：1月11日(日)～2月初頭 予定  
修復箇所：母屋、高倉、クマの檻、男女便所

※工事期間は状況により前後する可能性があります。

